

海外交流センター

本日の内容



A) 交流状況 (2019年度)

インバウンド (研修受け入れ、アンケート結果、病院見学)
アウトバウンド (海外派遣)

B) 交流支援

海外交流センターの支援内容 (事務手続きなど)
研修者の予防接種証明書
海外学生受入に関する変更点

C) 人材育成 (2019年度)

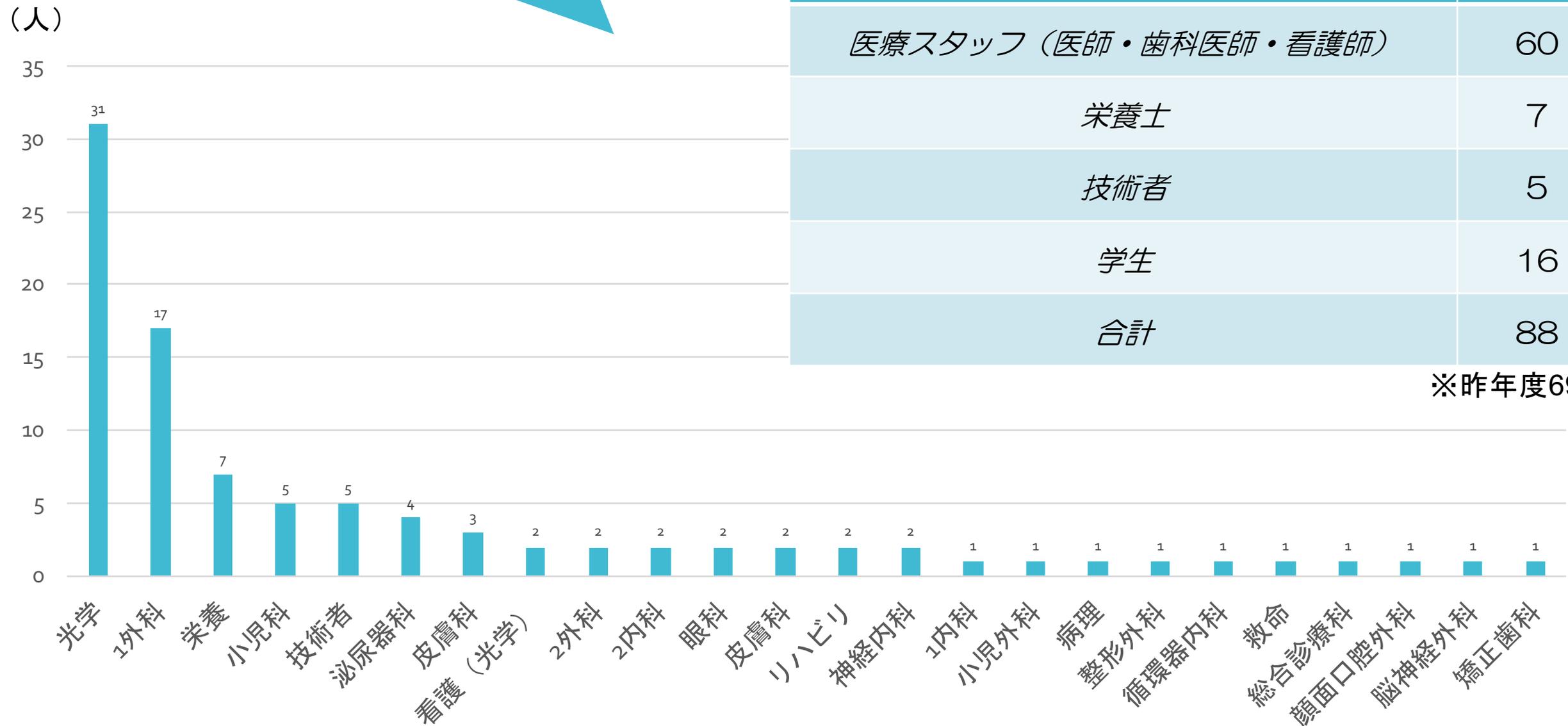
教職員のための英語研修

A) 交流状況

受け入れ実績（2019年度） 診療科別



21カ国63施設より受け入れ。
多くの部署の皆さまにご協力
いただきました。



	人数
医療スタッフ（医師・歯科医師・看護師）	60
栄養士	7
技術者	5
学生	16
合計	88

※昨年度69名

※学生は複数診療科で研修するため、グラフは延べ人数を示します

診療科からの外国人医療スタッフ受け入れに 関するアンケート結果（6件）

1. 外国人医療スタッフを受け入れていただいた期間はいかがでしたか？

	2週間	3週間	1ヶ月	6ヶ月
長い：2		1	1	
適当：4	1	1	1	1

2. 受け入れていただいた外国人医療スタッフはいかがでしたか？（研修態度など）

良かった：6

- ・研修に関する要望がはっきりしており、積極的に参加されていました。
- ・まじめで謙虚
- ・何事にも積極的に興味を持って取り組んでいた。
- ・研修に対して非常に熱心であった点

3. 受け入れに関し、良かった点はございますか？

- ・国際交流の機会を持つことが出来たと同時に、今回受け入れた医師は、研修の明確な目標があり、我々も刺激を受けました。
- ・受け入れまでの連絡がスムーズでストレスもなかった。
- ・お互いの国の医療について Discussion できた点
- ・ベトナム・日本間で医療体制に関して情報共有できた点

- ・コミュニケーションがとりやすかった。
- ・理解が早い印象があった。
- ・率先して研修されていて、質問も多く積極的でよかった。
- ・プレゼンテーションが素晴らしかった。

4. 今回の受け入れに関し、ご苦勞をなされた点などはございますか？

- ・おかげさまで、受け入れ手続きからお手伝い頂き、特にありませんでした。
- ・外国人医師の意向に沿ったスケジュール
- ・外国語での説明
- ・他科との調整をすべて当科で行う必要があった点
- ・疑問はすぐに質問されましたが、受け入れ側の英語力に問題があり、なかなか返答できなかった。
- ・ポケットーク使用のやりとりで上手く通訳できず、上手く説明することができなかった。
- ・発音が聞き取りにくい感じがしたため何度か聞きなおすが、上手くやりとりできたか、分からなかったこともあった。
- ・受け入れ側の勉強不足で申し訳なかった。
- ・電波が悪い環境では、ポケットークが上手く使用できなかった。

5. 次回、もし貴診療科で研修希望の外国人ドクター及び学生がいた場合、受け入れていただくことは可能でしょうか？

期間		コメント
可能	5	
短期の研修であれば可能	1	対応できる医師が少ないため

医師・看護師・技術者の受け入れ（60名・14診療科）



リハビリテーション



光学医療診療部



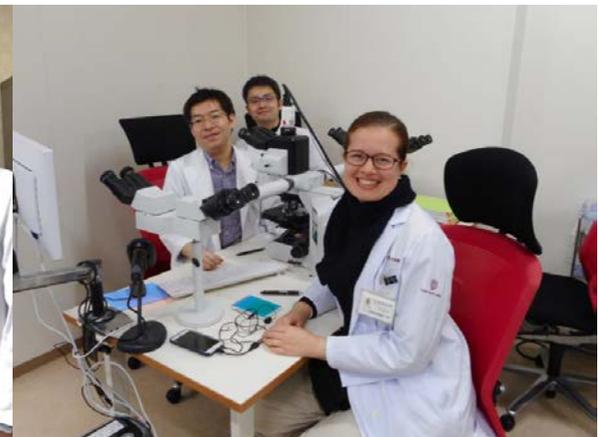
顔面口腔外科



矯正歯科



1外科



病理部



泌尿器科



栄養士



アジア遠隔医療センター

学生の受け入れ（16名・14診療科）



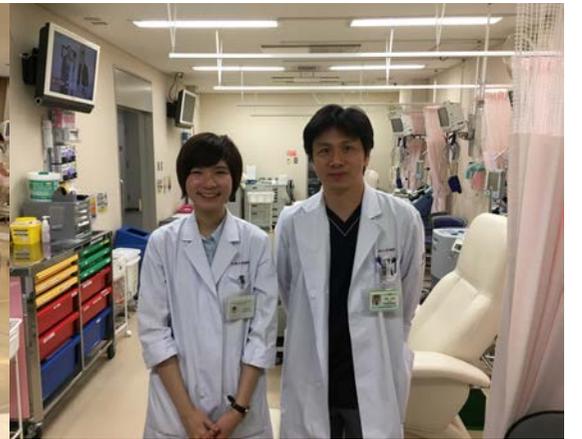
総合診療科



小児科



血液内科



皮膚科



循環器内科



脳神経外科



眼科



救命救急

診療科からの外国人医学生受け入れに関するアンケート結果（15件）

1. 外国人医学生を受け入れていただいた期間はいかがでしたか？

	1週間	2週間
短い：1		1
長い：3	1	2
適当：11	3	8

2. 受け入れていただいた外国人医学生はいかがでしたか？（研修態度など）

普通：3

- ・研修態度は良好。質問などは普通

良かった：12

- ・積極的、友好的
- ・真面目で研修に対して積極的なところ。社交的なところも良かったです。
- ・研修態度はとても勤勉でした。積極的に見学していました。
- ・研修に対して非常に熱心であった点
- ・実習態度が真面目で治療に対して興味を持って臨んでいた点。また英語が堪能でコミュニケーションも問題なかった。
- ・向学心があった。礼儀正しかった。
- ・診療に積極的に関わり、主治医とのdiscussionも頻繁に行っていた。文献検索による考察も行っていた。
- ・非常に真面目で話しやすく自分の経験したいことを伝えてくれた所
- ・積極性あり。ポリクリ中の本学の学生との交流も良好

3. 受け入れに関し、良かった点はございますか？

- ・外国人の方と英語でコミュニケーションがとれた。
- ・英語力の低さを自覚することができた。ポケトークは有効に使えました。
- ・(当部に関して)ドクターが指導に協力的であった。
- ・学生の態度
- ・医学部 5 年生の協力が良かった。
- ・たまたま外国からの先生も一緒だったので、英語での discussion が盛んにできました。
- ・よく勉強されていました。
- ・外国の、かつ学生に当科での治療を説明するに当たり、こちら側も知識などを整理することが出来た点
- ・国際交流に少しでも貢献できた点
- ・当科の若手が英語で会話するいい機会になった。
- ・受け入れスケジュールについて配慮いただいた点
- ・日本語がかなりできる方で、診療教育上の意見交換や患者さんとのコミュニケーションについて助かった。
- ・自科の診療や研究内容について海外の情報も聞けた点
- ・医学部学生実習と帯同することで、教員の負担が軽減できた。学生は海外の学生と交流することで国際的な視点を持つことができた。

4. 今回の受け入れに関し、ご苦勞をなされた点などはございますか？

- ・英語力が十分ではないため、きちんと伝えられたか心配
- ・研修スケジュールの作り方(予定していた担当者が休み、予定が変わった等)
- ・日本語ができないので、回診が退屈されてたご様子でした。
- ・臨床・研究業務に携わる一医師に、スケジュールアレンジを任せるのは、臨床や研究にしわ寄せや負担を増すのみ。

- ・英語で診療情報を伝える事ができる医師が少ないので、人員配置に工夫が必要となります。また業務が忙しい場合には、患者さんにかかりっきりになるので、十分な説明が出来ませんでした。
- ・外来が繁忙期なので、十分な説明ができなかったかもしれません。
- ・(当科の中での問題かもしれませんが)事前に日程についての相談がなかったので、出張と重なってしまった点
- ・通常の臨床業務が多忙のため十分に相手ができなかった可能性がありその点は心配しております。
- ・夏季休暇中のため、学生実習に帯同できず独自のプログラムを作成した。
- ・スタッフが少なく、教えられる人がいない。
- ・かなり短期間(2週間)であったため、学習できる症例にかぎりがあった点
- ・当人が配属されてから研修スケジュールを話し合ったため、初日にやや時間を要した。
- ・英語での通訳・説明に努めたが、一部のカンファレンスなど、対応できない部分もあった。
- ・何か困ったときにコミュニケーションツールがあるとよいです。学生のSNSを使用していますが、使えないことがあります。

5. 次回、もし貴診療科で研修希望の外国人ドクター及び学生がいた場合、受け入れていただくことは可能でしょうか？

期間		コメント
可能	1 1	・各科均等に割り振ってはいかがでしょうか？
九大連携(協定)に限り可能	2	
不可能	1	

6. その他、ご意見等ございましたらお聞かせください。

- ・研修に対する対価等あるのでしょうか？
- ・国際医療部を通して研修に来ていただくのがこちらとしては非常に助かります。何故なら、宿泊の確認や来日までのやり取りをこちらでする必要がないからです。これは質問ですが、海外の大学の留学生が当科で研修したいと希望された場合、どの大学の学生でも国際医療部海外交流センターを介してもらうことは可能なのでしょうか？
- ・救急科をつくっていただけるよう上申中です。
- ・学生実習に併せると教員の負担が軽減できるため、調整をお願いします。
- ・前勤務先では、このような訪問者のスケジュールは、プログラムを企画する部署の職員が、多大な努力を払って、医師、研究者と連絡をとり、時間刻みで綿密にアレンジしていた。海外交流センターは、海外学生の見学風景をご覧になりましたか？われわれの、語学力、対応、見学内容など、なにか改善したらいい点はございますか？
- ・5年生、6年生の実習と重ならない時期がよい研修希望内容が事前にある程度分かればスケジュールを立てやすい。
- ・困難があった際のバックアップ体制(電話対応できる大学部署の連絡先を事前に伝えておくなど)を強化してもいいかもしれません。

海外学生については、先方の大学より九州大学医学研究院長宛の推薦状をもらい手続きをしています。受入れについては医学部国際化担当と協議し、アンケート結果は医学学生係、教務委員会にて医学部と共有します。

貴重なご意見をありがとうございました。

病院見学

12カ国から25団体301人（昨年度117人）人の当院訪問をサポート。多くの部署の皆さまにご協力いただきました。



薬剤部



検査部



整形外科病棟



麻酔科（手術室）



循環器内科（心臓カテーテル室）



南11階病棟



小児科病棟（院内学級）



アジア遠隔医療開発センター



経理課



国際診療支援センター



インプラントセンター

海外病院訪問

14各国49施設
延べ86人を派遣



バックマイ病院
(ベトナム)



ハバロフスク鉄道病院病院
(ロシア)



ヤンゴン歯科大学
(ミャンマー)



モンゴル国立皮膚科センター
(モンゴル)



国立腫瘍センター
(キルギス)



植民地戦争記念病院
(フィジー)



ブータン王国保健省
(ブータン)

2月に予定しておりました椎木基金のプログラム「多職種編成チームによるシンガポールの医療施設訪問」は新型コロナウイルス感染症の影響により延期となりました。

予防接種証明書の提出

対象：病院へ立ち入る可能性のある海外からの招聘者（医師・学生等）のうち1週間以上、見学または研修を行う者全て
 項目：麻疹、風疹、ムンプス、水痘、B型肝炎の予防接種歴と結核の有無

<診療科記載>

海外からの招聘者情報

提出日： 年 月 日

氏名	(カタカナ表記)	性別	国籍
所属機関	(日本語表記) (英語表記)		
職業・職位			
連絡先	E-mail	@	
受け入れ診療科			
受け入れ期間	年 月 日	~	月 日

招聘が決まった時点で海外交流センターにメールで提出してください

：グローバル感染症センター下野先生によるチェック
 →追加接種が必要な場合は診療科または研修希望者へお知らせします

※3月に改訂された『感染対策マニュアル 3-4 職員の感染症曝露発生時の対応、6 抗体検査とワクチンプログラム』にも「海外からの訪問者で、研修、見学、診療等のために、1週間以上滞在する場合は、Certificate of Immunizationを受入れ先に提出すること。」とあります。

招聘者情報は各診療科で記入し、予防接種証明書と合わせて提出してください。

<研修希望者本人記載>



KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL

3-1-1, Maidashi, Higashi-ku,

Fukuoka 812-8582, Japan

CERTIFICATE OF IMMUNIZATION

Name: _____ Date of birth: _____

Institute: _____

All international students/ doctors/ health care persons are required to submit this sheet before visiting or staying at Kyushu University Hospital more than 7 days.

Required immunizations			Positive serological test
Measles (Rubeola)	First	Second	Titer(method) _____ () _____/_____ month year
	_____/_____/_____ month day year	_____/_____/_____ month day year	
Rubella (German Measles)	First	Second	Titer(method) _____ () _____/_____ month year
	_____/_____/_____ month day year	_____/_____/_____ month day year	
Mumps	First	Second	Titer(method) _____ () _____/_____ month year
	_____/_____/_____ month day year	_____/_____/_____ month day year	
Varicella (Chicken Pox)	First	Second	Titer(method) _____ () _____/_____ month year
	_____/_____/_____ month day year	_____/_____/_____ month day year	
History of chickenpox		Age _____ OR Date of disease ____/_____ month year	

Two immunizations are required for the above diseases. OR A positive serological test for immunity is acceptable instead of immunizations. Describe the method in (), for example, EIA, NT, etc. A history of chickenpox is acceptable.

Hepatitis B series:

First	Second	Third
_____/_____/_____ month day year	_____/_____/_____ month day year	_____/_____/_____ month day year
Positive serological test	Titer(method) _____ () _____/_____ month year	
If Hepatitis B carrier, check here []		

Three immunizations are required for Hepatitis B. OR A positive serological test for immunity to Hepatitis B is acceptable instead of immunizations. OR A carrier of hepatitis B is acceptable.

Tuberculosis screening

TB skin test (TST)	Date given _____/_____/_____ month day year	Date read _____/_____/_____ month day year	Result _____ mm induration
IGRA test	Date tested _____/_____/_____ month day year	[] negative [] positive [] indeterminate	
Chest X ray	[] normal [] abnormal		

TST result must be recorded as millimeters (mm) of induration, transverse diameter; if no induration, write "0".
IGRA (Interferon gamma release assay) test is acceptable instead of TST. For the person with positive TST or history of BCG vaccination, IGRA test is recommended. Chest X ray is required if TST or IGRA is positive.

Signature of physician or healthcare provider:

Name _____

Signature _____

Name of clinic or hospital _____

Address _____

Phone _____ Date _____

Declaration of the applicant

[] I will follow the infection control rules of Kyushu University Hospital during my stay.

[] When I am sick, I will inform it to the supervisor.

[] In case the additional immunizations or laboratory test are necessary, I will receive them with my responsibility.

(At least one immunization is necessary before visiting. Additional vaccines should be done during the stay.)

Name _____

Signature _____

B) 交流支援

海外交流センター支援内容

	招聘	派遣
滞在前	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入国に関する手続き ・ 居住先の選定、予約、手配 ・ 空港から滞在先への移動方法 ・ 招聘に伴う院内手続き 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビザ手続きのサポート
滞在中	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学会や研修会への参加手続き ・ 臨床教授・臨床修練医の申請手続き ・ ポケットークの貸出 	海外の病院訪問のサポート <ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問先病院とのスケジュール調整 研究者留学の事務手続きサポート <ul style="list-style-type: none"> ・ ビザ手続き ・ 現地生活（住居等）に関する情報収集 ・ 受け入れ先との連絡のサポート
各種相談	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種相談（両替・郵便・交通・観光地・Wi-Fi・自転車など） ・ 滞在中の研究者やスタッフの交流 ・ 研究者同士の情報交換 	
その他	海外施設等からの病院見学 <ul style="list-style-type: none"> ・ 相手先施設及び見学先（院内施設）とのスケジュール調整 ・ 見学時の案内係（必要時のみ） 医療通訳学習会（英語・中国語）の開催	



情報共有をよろしくお願いいたします

- 外国人研究者や学生の情報
 - 特に短期滞在者の情報
 - 来日者同士のコミュニケーションの場
- インバウンド、アウトバンド活動の情報
 - 職員の海外派遣の情報
 - 訪問予定施設の情報
- 教職員の国際化につながる取り組み
 - セミナーなどの実施の情報

<今後の課題>

- ・イスラム教や他宗教のお祈り場所の確保（受入診療科でもサポートもお願いします）

<昨年までとの相違点>

海外**学生**については、本人とのやり取りは海外交流センターでサポートいたしますが、診療科への依頼や調整は（医学）**学生係**が行います。

ご協力の程をよろしくお願いいたします。

C) 人材育成

教職員のための英語研修①



2019年度実施状況

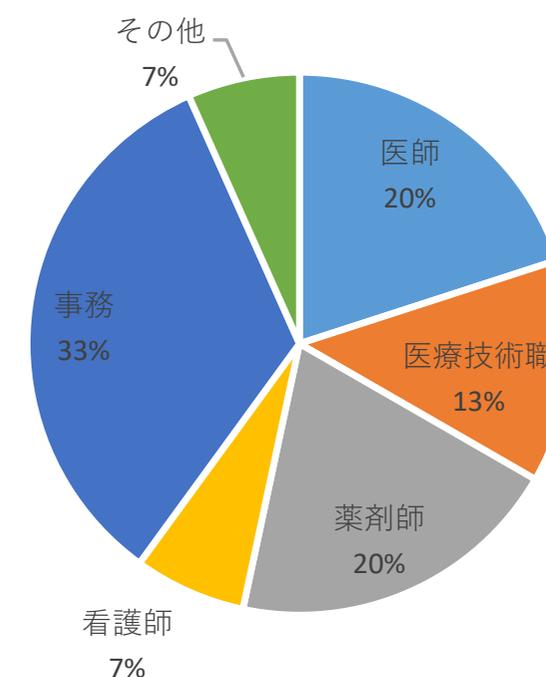
時間：1回(120分) × 12回(各クラス週1回)

クラス：TOEIC対策(レベル別3クラス開講)

クラス	人数	出席率
初級(470点目標)	5名	60%
中級(600点目標)	6名	44%
上級(800点・50点UP目標)	4名	43%

感想

- ・ TOEICの解き方(攻略)がわかった
- ・ リスニングが前より聞き取れるようになった
- ・ 単語力がついた



- ・ 募集時に、受講前後のTOEIC受験をお願いしています。
- ・ 出席率の低さが課題です。(欠席時は事前連絡が必須です)

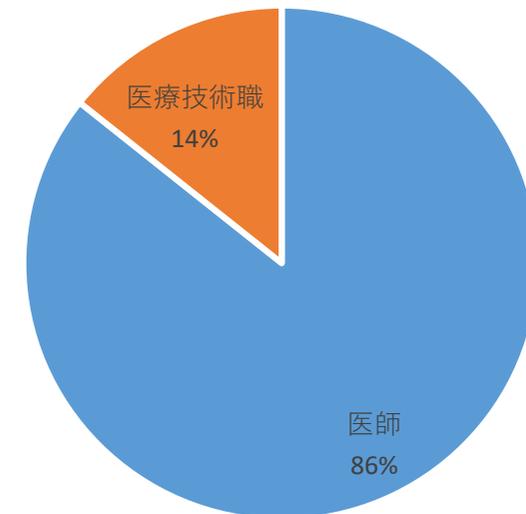
教職員のための英語研修②

2019年度実施状況

時間：1回(120分)×12回(週1回)

クラス：プレゼンテーション対策(レベル別2クラス開講)

クラス	人数	出席率
初級	9名	68%
中上級	5名	52%



感想

- ・ロジカルなプレゼンテーションを構築できるようになった
- ・すぐに役立つスキルが多く、実践的であった
- ・英語のみならず、学会発表の流れなどにも応用できると思う

教職員のための英語研修③

2019年度実施状況

時間：1回(60分)

期間：月1回

クラス：英語、中国語

usersメールにて開催日・内容を案内します。
新型コロナウイルス感染症対策として、オンライン受講も開催予定です。

クラス	回数	参加人数
英語	8回	52人
中国語	2回	3人

教職員のための英語研修④

部署別英会話研修（医療技術部）

研修期間：12月～2月
時間：1回につき60分・全3回
受講者：4名
研修内容：
第1回 プレゼンテーション研修
第2回 プレゼンテーション添削
第3回 プレゼンテーション練習

部署別英会話研修（薬剤部）

研修期間：1月～3月
時間：1回につき90分・全12回
受講者：13名
研修内容：
①薬剤師のための基本会話
②部門案内（調剤室・全体紹介）

部署別英会話研修（看護部/光学医療診療部）

研修期間：4月～7月
時間：1回につき60分・全8回
受講者：8名
研修内容：
第1回 オリエンテーション・内視鏡室内
第2回 内視鏡室
第3・4回 下部内視鏡検査
第5・6回 ERCP(透析室)
第7回 総まとめ・基礎英会話復習
第8回 総まとめ・案内練習

部署別英会話研修 （看護部/周産期母子医療センター）

研修期間：12月～4月
時間：1回につき60分・全12回
受講者：34名
研修内容：
第1回 オリエンテーション産前
第2・3回 産前
第5～7回 ESD
第8～10回 産後
第11・12回 総まとめ

院内の国際化推進のため、部署別英会話研修を募集をします。
興味がありましたらご連絡ください。

ご意見・ご質問

- どんな支援があれば良いですか？
- 受入、派遣で障害となっている点は何ですか？
- どのような人材育成プランが足りませんか？



海外交流センター
4439・3775

何かございましたら、いつでもご連絡ください。